

伝統ある、公益社団法人大阪港振興協会とのホームページのリンクが実現

戦後間もない頃に大阪港の復興計画を実現するべく設立され、大阪港の振興に意欲的な諸事業を次々と実行されてきた、伝統ある[公益社団法人大阪港振興協会のホームページ](#) にリンクさせていただくことをご了承いただきました。非常に名誉ある、有り難いことです。

実は、この公益社団法人大阪港振興協会様のホームページで紹介されている「大阪港振興協会チャンネル」のひとつ、映像『菱垣廻船復元の記録』を、当工樂松右衛門公式サイトを閲覧中の皆様に、是非ご覧いただきたいと、思っています。

『菱垣廻船復元の記録』ビデオは、1999年大阪市の市制100周年記念の事業として建設された「なにわの海の時空館」のメイン展示物として計画され、江戸時代初期天下の台所、大阪の繁栄の元となった菱垣廻船を、当時のままに再現しようと建造された「浪華丸」の製作記録映像です。

この「浪華丸」には、工樂松右衛門が工夫して開発した創製帆布を、海事専門の学者によって慎重に研究され、忠実に再現された正しい帆布が使用されています。巾75cm、長さ(帆の高さ)20mの帆布を横に24枚繋いである実物大の松右衛門帆です。

現在その浪華丸は、残念ながら公開展示されていません。ですから、是非この映像を見て、この浪華丸に使用されている帆が、工樂松右衛門の工夫・開発による帆布がどのようなモノかを、良くご理解いただきたいと思っています。この記録映像は、大阪市港湾局によって企画され、東京大学大学院総合文化研究科安達裕之教授、大阪大学野本謙作名誉教授、神戸商船大学松木哲名誉教授の監修により製作されました。

またこの「復元された菱垣廻船『浪華丸』」の詳細な報告書も、同協会のホームページに掲載されています。此方も、是非参考にしてください。



[『弁才船の花形 菱垣廻船復元の記録』をどうぞ！](#)